

科目名称：	ホテル事業論	
担当者名：	本郷 一郎	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
<p>ホテルを中心に宿泊業が発展してきた道のりを学ぶとともに、一方では社会の動きや生活スタイルの変化、そして昨年より続く新型コロナウイルス感染症（以下「Covid-19」）禍によりパラダイムシフトを余儀なくされている現状から、将来のあるべき姿まで、観光業、宿泊業に携わる人材として知識を習得してもらうとともに、実際のマーケットの立ち場からこそ“実学”を通じて、考える力、行動するスキルを体得していただきます。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>令和時代のホテリエとして、観光業、宿泊業において有為な人材を育成します。 時代の変化に対応できる考察力、立ち向かえる行動力を身に着ける戦力化を目指します。</p>		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、ビジネス社会で求められる基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	
DP(2)	医療事務や観光業を含むビジネスの専門知識や技能を身につけ、各種資格を取得し、ビジネスワーカーとして他者と協調・協働することのできる実践力を身につけている。	fa
DP(3)	多様なビジネス社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、ゼミナールを通して、ビジネス現場における様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力を身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	毎回小レポート	期末レポート	グループワーク	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)		20	80		100
ビジネスDP(3)					0
ビジネスDP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 航空系都市型ホテル経験 マーケティング・セールス・広報・マネジメント	《経験年数1》 19年
	《内容2》 外資系都市型ホテル経験 マーケティング・セールス・広報・マネジメント	《経験年数2》 5年
	《内容3》 地場資本宿泊特化型ホテル経験 代表取締役、支配人	《経験年数3》 8年
	《内容4》 地場資本温泉旅館グループ 経験 新規事業開発	《経験年数4》 半年

備考
特になし

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
課題プレゼンテーション（ホームワーク）	将来のあるべき自分の姿を明確にイメージできている。	将来の希望や課題について考えている。	宿泊業、観光業についての十分な知識を有している。	宿泊業、観光業に対する興味が希薄である。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回 ホテルの社会的役割とその変遷	ホテル経営論の振り返りと事後のまとめ	60分
第2回 宿泊業のこれまでと現状	宿泊業について事前学習と事後のまとめ	30分
第3回 ホテルのタスク構造 主として宿泊部門業務	宿泊業務の事前学習と事後のまとめ	30分
第4回 ホテルのタスク構造 主として料飲部門業務	レストラン、宴会業務の事前学習と事後のまとめ	30分
第5回 ホテルのタスク構造 主としてセール&マーケティング部門業務	セール&マーケティング業務の事前学習と事後のまとめ	30分
第6回 ホテルの企業としての社会的責任（CSR）	宿泊業の社会的責任の事前学習と事後のまとめ	30分
第7回 これからのホテルに求められるもの	自分になりたいホテルエ像を想像し、事後は足りないものをまとめる	60分
第8回 顧客満足（CS）について考える	顧客満足について考え、事後はまとめる	30分
第9回 最大レベニューを達成するための手法	どうすれば売り上げを伸ばせるかシミュレーションし、事後はまとめる	30分
第10回 ゲスト分析とプロファイリング	宿のスタイルごとにゲストの種類を考え、事後はまとめる	30分
第11回 ITを生かす観光のトレンド	昨今のIT事情を予習し、事後はまとめる	30分
第12回 石川県、金沢市の観光を取り巻く変化（グループワーク）	石川県、金沢市の観光は新幹線やパンデミックでどう変化したか、考え、事後はまとめる	60分
第13回 「Covid-19」禍は観光業に何をもたらしたか？	「Covid-19」の影響の事前検証と事後のまとめ	30分
第14回 「After Covid-19」に宿泊業はどう変わる？	「Covid-19」の影響の事前検証と事後のまとめ	30分
第15回 「新時代の観光業、宿泊業の有り方を考える」をテーマにレポート作成	レポート作成と当日の提出	60分
事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。 また、事後学修としては、次回まで小レポートをまとめる。		
成績評価の方法・基準		
定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。 定期試験は実施せず、期末の課題レポート提出の内容80%と毎回の小レポート内容20%を評価対象とする		
課題に対するフィードバック		
毎回の課題のまとめを含め、レポート内容をルーブリックに沿って確認し、必要な場合はフィードバックを行う		
教科書・参考書		
教科書（学生に購入してもらうもの）：ホテル業界大研究（ビジネス2020（第2版） 産学社／著者中村正人） 事前事後学修及び、授業内で参照する。		